



2020年4月28日

## 新型コロナウイルス感染症拡大に備えた 緊急医療体制「神奈川モデル」構築への義援金の拠出について

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、罹患された方々、被害や影響を受けられている方々に心よりお見舞い申し上げます。

横浜銀行（代表取締役頭取 大矢 恭好）は、神奈川県が新型コロナウイルス感染症対策として構築した緊急医療体制「神奈川モデル」や中小企業支援などに役立てていただくため、義援金1千万円を寄付することとしました。

「神奈川モデル」は、爆発的に患者が急増（オーバーシュート）することで「医療崩壊」してしまうことを回避するため、患者数の規模を目安にしたフェーズに応じて、患者の症状に合わせた医療機関を調整する緊急医療体制です。当行は、県内の「医療崩壊」回避に向けた取り組みに賛同します。

以上